

問1 ブラジルにおける農業の発展と環境問題の関連性について、その背景と経緯を説明した文章として正しいものはどれですか。

(2020年 大分県公立入試 類似)

1. 石油危機によるバイオ燃料の需要増や、中国の発展にともなう飼料用大豆の需要増に 대응するため、熱帯林を切り開いて農地を拡大した。
2. 世界的なコーヒー価格の下落を受け、沿岸部の広大な干潟を埋め立てて工業団地を造成したが、海洋環境の悪化を招いた。
3. 人口増加による食料不足を解消するため、アンデス山脈の急斜面を大規模に開墾して小麦の作付面積を増やしたことで、土壌流出が起きた。
4. 北米自由貿易協定（NAFTA）への加盟を機に、アメリカ向けの輸出用トウモロコシ栽培に特化した結果、農業による地下水汚染が深刻化した。

問2 16世紀にスペインに征服されるまで、現在のペルーやボリビアを中心としたアンデス山脈沿いの高地で栄えた、マチュピチュなどの石造りの都市遺構で知られる帝国を何と称しますか。

(2017年 静岡公立入試 類似)

1. インカ帝国
2. マヤ文明
3. アステカ帝国
4. ムガル帝国

問3 オーストラリアの自然環境について述べた次の説明のうち、国土の75.1パーセントという圧倒的な面積を占める気候帯の特徴として、最も適切なものはどれですか。

(2026年 奈良公立入試 類似)

1. 一年を通して降水量が極めて少なく、樹木の生育が困難である。
2. 一年を通して気温が高く、降水量の多い雨季と少ない乾季がはっきり分かっている。
3. 四季の変化が明確で、一年を通して一定の降水量があり、農業や居住に適している。
4. 夏の期間が非常に短く、地下には一年中凍ったままの永久凍土が広がっている。

問4 南アメリカの赤道付近に位置する都市の気象データにおいて、月平均気温が一年を通して約10度から15度の間でほぼ一定であり、月ごとの気温の変化（年較差）が非常に小さい一方で、周辺の低地よりも気温が低く抑えられている気候を何と呼びますか。

(2022年 神奈川県公立入試 類似)

1. 標高が高いことによる高山気候
2. 赤道直下の低地で見られる熱帯雨林気候
3. 緯度が高い地域で見られる亜寒帯気候
4. 中緯度の沿岸部で見られる温暖湿潤気候

問5 オーストラリアの鉱産資源の分布と貿易に関する説明として、最も適切な記述はどれですか。産地と資源の種類の関係に着目して選びなさい。

(2023年 三重公立入試 類似)

1. 大陸東部に産地が集中している石炭は、世界の輸出量において高い割合を占め、日本のエネルギー産業にとっても重要な資源となっている。
2. 大陸東部に分布する大規模な露天掘りの鉱山では、鉄鋼の原料となる鉄鉱石が採掘され、その多くが日本へ輸出されている。
3. 大陸西部の産地から輸出される石炭は、日本のアルミニウム工業を支える重要な原料として活用されている。
4. 大陸全体で均等に産出される石油は、オーストラリアの輸出額の過半数を占め、アジア諸国へ燃料として供給されている。

問6 オーストラリアの移民の出身地域に関する統計では、1966年にはヨーロッパ出身者が大半を占めていましたが、2021年のデータではその割合が大幅に減少し、代わりにある特定の地域からの移民が急増していることが示されています。この変化をもたらした政策上の転換と、増加した地域の組み合わせとして正しいものはどれですか。

(2023年 山口公立入試 類似)

1. 白豪主義を廃止し、アジアなどからの移民を受け入れるようになった。
2. アパルトヘイトを廃止し、アフリカからの移民を優先して受け入れるようになった。
3. 多文化主義を否定し、近隣のオセアニア諸国からの移民のみを許可した。
4. 鎖国政策を廃止し、北アメリカからの移民を積極的に招いた。

問7 オーストラリアの鉄鉱石採掘などで広く採用されている、地下に潜らずに地表から直接地面を大規模に削り取って掘り下げていく採掘方法を何というか、名称を答えなさい。

(2020年 徳島公立入試 類似)

1. 露天掘り
2. 坑内掘り
3. 棚田
4. 促成栽培

問8 南アメリカ州では、大豆やトウモロコシなどの特定の農作物を大量に生産し、輸出する農業が盛んです。このような農産物の生産シェアが世界的に高い背景にある、この地域の農業の特色と課題について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。

(2026年 福岡公立入試 類似)

1. 広大な土地を利用して、機械化された大規模な農場で輸出向けの作物を栽培しているが、一方でアマゾンなどの森林破壊が問題となっている。
2. 家族中心の小規模な農家が、主食用として小麦を生産する自給的な農業が中心であり、環境負荷は極めて低い。
3. 灌漑施設の整備によって砂漠地帯を農地へと変え、カカオ豆のモノカルチャー経済から脱却して、食料自給率を飛躍的に向上させた。
4. 特定の先進国による植民地支配の名残から、現在でもすべての農地でコーヒーのみを栽培するモノカルチャー政策が続けられている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 石油危機によるバイオ燃料の需要増や、中国の発展にともなう飼料用大豆の需要増に応えるため、熱帯林を切り開いて農地を拡大した。	ブラジルの農業生産の変化は、国際社会の動向と強く結びついています。1970年代の石油危機によるエネルギー政策の転換、および2000年代の中国の経済成長による農産物需要の拡大という2つの大きな節目を経て、さとうきびや大豆、畜産物の生産が飛躍的に伸びました。しかし、生産量を増やすためにアマゾンなどの熱帯林を農地へ転用したことが、森林減少という深刻な環境負荷を与えています。選択肢にある「沿岸部の埋め立て」や「工業化の進展」は、この文脈における森林破壊の直接的な要因ではありません。
問2	答え 1 インカ帝国	15世紀から16世紀にかけて、南アメリカ大陸の西部で巨大な勢力を誇ったのがインカ帝国です。文字を持たない代わりに「キープ」という紐の結び目で情報を記録する独自の文化を持ち、標高の高い山岳地帯に高度な石造建築の技術を用いた都市を築きました。
問3	答え 1 一年を通して降水量が極めて少なく、樹木の生育が困難である。	オーストラリアは世界で最も平坦な大陸の一つであり、内陸部には湿った空気が入り込みにくいいため、広大な乾燥帯が形成されています。この地域では降水量が蒸発量よりも少なくなるため、樹木が育つことができず、乾燥に強い草がわずかに生えるか、砂漠が広がる景観となります。
問4	答え 1 標高が高いことによる高山気候	アンデス山脈のような高標高地帯では、標高が上がるにつれて気温が下がるため、赤道に近い低緯度であっても一年を通じて涼しい気候になります。また、赤道付近は年間を通じて太陽からの受熱量が安定しているため、季節による気温の変化（年較差）がほとんどなく、「常春」のような気候が続くことが特徴です。
問5	答え 1 大陸東部に産地が集中している石炭は、世界の輸出量において高い割合を占め、日本のエネルギー産業にとっても重要な資源となっている。	オーストラリアの主要資源である石炭と鉄鉱石は、産地が明確に分かれています。東部の古期造山帯付近では石炭、北西部の安定陸塊では鉄鉱石の産出が盛んです。石炭は燃料や製鉄用として、鉄鉱石は製鉄の原料として、それぞれ日本をはじめとする世界各国へ大量に輸出されています。地形（地質構造）と資源の分布を関連付けて理解することが重要です。
問6	答え 1 白豪主義を廃止し、アジアなどからの移民を受け入れるようになった。	かつてのオーストラリアは白豪主義によって移民をヨーロッパ系に限定していましたが、1970年代の政策転換により、出身国に関わらず移民を受け入れるようになりました。その結果、地理的に近い中国、インド、東南アジアといったアジア地域からの移民が急増し、統計上でもその割合が顕著に高くなっています。現在は多様な文化を尊重し合う「多文化主義」が国の方針となっています。
問7	答え 1 露天掘り	オーストラリアは古期造山帯に属する安定陸塊が広がり、鉄鉱石などの鉱物資源が地表近くに豊富に埋蔵されています。そのため、地下に複雑な坑道を建設するのではなく、地表から直接渦巻き状に削り取っていく手法が効率的であり、多くの大規模鉱山でこの方式が採用されています。
問8	答え 1 広大な土地を利用して、機械化された大規模な農場で輸出向けの作物を栽培しているが、一方でアマゾンなどの森林破壊が問題となっている。	ブラジルを中心とする南アメリカ州では、広大な土地に機械を導入した大規模農業が行われており、大豆などの輸出用作物の生産シェアが高まっています。しかし、その農地を確保するためにアマゾン川流域の熱帯雨林が伐採されるなど、深刻な環境問題を引き起こしている側面も理解しておく必要があります。